

R 3 学校評価（職員による自校評価） 【前期・後期】

領域	項目	No.	項目	R3前期	R3後期
全般	教育目標	1	私は、本校職員としての誇りや責任を持って生徒の指導にあたっている	3.2	3.6
		2	私は、「ひとり歩きできる生徒」の育成を意識して指導にあたっている	3.2	3.6
	学校運営・職員組織	3	本校では、職員の校務分掌は適切に配置され、機能している	3.1	3.8
		4	私は、学校経営への参画意識をもって取り組んでいる	3.2	3.6
		5	どの職員も、組織的、円滑な学校運営を行うために、報告・連絡・相談を適切に行われている	3.4	3.4
		6	職員会等、職員間で共通理解されたことは、全職員で共通行動が行われている	3.4	3.5
	生徒指導	7	本校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けて、気になることを遠慮せず伝え合える風通しのよい職員集団である	3.3	3.7
		8	本校職員は、生徒指導の提案を真摯に受け止め、危機意識をもって、指導を行っている	3.5	3.4
		9	本校職員は、生徒指導委員会を核にしながら、不登校傾向生徒をはじめ、気になる生徒に対して、報告・連絡・相談を迅速に行うなど適切に対応している	3.5	3.3
		11	生徒一人一人を大切にするために、気にかける指導を基本姿勢として、個を育てる指導や生徒との信頼関係づくりに努めている	3.3	3.5
		12	保護者との連携や信頼関係を築くための努力をしている。	3.1	3.3
	特別支援教育	13	本校職員は、特別な支援が必要な生徒一人一人の教育的ニーズを正しく理解し、適切な指導・支援ができています	3.0	3.1
	服務規律	14	本校職員は、不祥事を絶対に起こさないよう、互いに意識し合っている	3.7	3.9
		15	私は、互いに声を掛け合って労ったり、進んで手伝ったりしながら、働きやすい職場をつくらうと努めている	3.2	3.4
		16	本校職員は、社会人としてのマナーや規律を守って職務にあたっている	3.5	3.4
		17	私は、個人情報漏れないようにパソコンや書類の管理(整理・整頓・処分方法)に気を付けている	3.3	3.5
	多忙化解消	18	私は、効率的に仕事をしよう努めている。	2.7	2.9
		19	私は、多忙化や多忙感の解消に向けて、行事や活動で改善できること意識しながら働いている。	2.8	2.9
		20	本校は、業務のスリム化を目指して取り組んでいる	3.1	3.3
	重点1 確かな 学力	追求し続ける授業改善	21	学ぶ意欲を生み出す課題を設定した授業ができた。	2.9
22			仲間との関わり合いを通して、自主的・意欲的に追求し続ける学び方を身に付けさせることができた。	3.0	3.0
23			自己の考えが深まったり、うまくできるようになったりした喜びを味わわせることができた。	2.8	2.9
追求し続ける家庭学習		24	生徒が自分に適した方法を見つけ、計画的に家庭学習を進めるようにすることができた。	2.6	2.6
		25	生徒が、分からないことを質問したり、間違えたところを繰り返し学習したりできるように指導できた。	3.1	3.1
要支援生徒への指導		26	要支援生徒が、授業に積極的に参加できるよう工夫しながら指導できた。	2.8	2.8
		27	要支援生徒が、繰り返し学び直しながら理解できるよう指導できた。	2.7	2.8
重点2 社会性の育成	28	生徒が、進路や部活動・日常生活など、自分自身の目標をもって生活できるようになった。	3.2	3.2	
	29	生徒が、自分の立てた目標に向かって、やり方を工夫しながら取り組めるようになった。	2.9	3.0	
	30	生徒が仲間のよさに気付き、自身の生活や行動に取り入れることができた。	2.9	3.2	
	31	生徒が、みんなで決めた目標を達成するため、仲間に対してしっかりと働きかけたり、要求したりすることができた。	2.8	3.1	
	32	生徒が、仲間の呼びかけや指摘に対して素直に応え、行動で示すことができた。	2.8	3.2	
	33	生徒が、部活動で大切にしてきたことを、普段の生活に生かしていくことができた。	3.2	3.5	
学校事務	34	担当する報告文書や会計処理、出張伺・復命書などの学校事務について、コンプライアンスも意識しながら、期限内に適正な事務処理を行った。	3.6	3.4	
	35	消耗品やコピー・プリンター、電気等について、節約・予算を意識して使用するとともに、物品の要望(注文)は余裕を持って計画的に行うことができた。	3.4	3.3	
	36	教育課程に基づき、授業や行事などの教育活動に必要な教材教具(ICT教育環境を含む)は整備されている。	3.0	3.2	
	37	学校事務に関する情報(予算等の財務や給与・旅費・福利厚生など)は速やかに伝達され、適正に行われている。	3.6	3.5	
	38	学校運営関連書類等の様式の簡素化・統一化や校務効率化のシステム(電子文書管理システムや学校徴収金システム等)の活用が進み、校務が軽減されている。	3.4	3.3	